

教育理念・目的・目標・教育方針

教育理念

看護は生命の尊厳、人間尊重に基づいて行われるものであり、人間関係のプロセスを基盤として、あらゆる健康レベルにある人が、もてる力を最大限に発揮できるよう生活を整えることである。

この考えに基づき、人間に対する理解を深め、誠実で豊かな人間性を養うとともに、科学的思考と問題解決能力を養い、保健医療福祉システムの中で、地域医療・地域包括ケアの要として、専門的役割を果たす看護実践者を育成する。

教育目的

命の尊さを基本に豊かな人間性を養うとともに、変化する社会に対応し、看護の専門職として判断・問題解決ができる看護師を育成する。

教育目標

- ①人間を理解し、命を尊び、個人を尊重する姿勢を養う。
- ②豊かな感性、創造性をもち、誠実で社会人として調和のとれた人間性を養う。
- ③社会、保健医療福祉の変化に対応できる専門的知識、さまざまな場面に対応する判断力、問題解決能力を身につける。
- ④科学的思考による対象への個別的看護が実践できる。
- ⑤地域医療・地域包括ケアチームの一員としての看護の役割を果たす能力を養う。
- ⑥専門職としての自覚をもち、真摯で主体的な学習と研究的態度を養う。

教育方針

- ①少人数制教育の強みを活かし、学校生活のあらゆる場面において、学生と教師が互いに知的刺激源となり、切磋琢磨していける雰囲気とする。
- ②日常生活の中から、人に対し、物に対し、また情緒面においても、繊細で豊かな感性を備え、自他の内面への洞察ができる人格の育成を目指す。
- ③常に問題意識をもち、解決方法を習得していく。学習の方法論を身につけ、種々の機会を自主的なものとして活用していく。
- ④自主・独立の精神のもとに、自らの行動に責任をもち、伸び伸びとした生活とする。そして自由な心の触れ合いの中にも規律と秩序を重んじる。